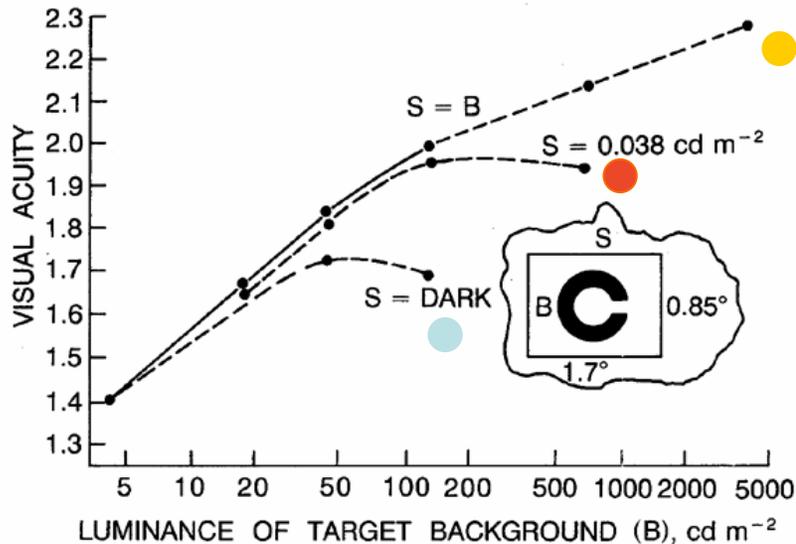


# 周辺領域の大きさと視認性

Lythgoe's experiment (1932), *Lighting Handbook 8<sup>th</sup>*



## 視対象の視認性

● 周辺輝度なし



● 周辺領域輝度若干あり



● 周辺領域輝度あり

## ■ 大きい周辺領域は視認性を向上させることを示唆

現在まで光幕の研究と統合した検討がされていないため、

既往研究でこのような食い違いが存在する

